



設楽ダムの建設中止を求める会

<http://no-dam.net/index.html> 第34号 2014年4月7日

建設予定地に大規模な断層・破碎帯を確認！
設楽ダム事業の撤退をさらに強く求める。

記者会見を行いました。 2014, 3月31日 豊橋市政記者室にて

市野代表は現地調査の結果、設楽ダム建設予定地で延長大規模な断層・破碎帯を確認。このことを踏まえて、主に以下の2点について説明し、広く市民に知らせるよう記者会見を行いました。
(写真は会見場の市野代表と大羽氏)



主な発表内容

- 1) 2年間もたなざらしになっている豊川水系フルプランの中間点検で、水需要予測が過大であったのか否かの確認を先に済ませてから、中部地整は設楽ダムの再検証の結論を出さねばならない。
- 2) ダム建設予定地の上流左岸、田口の街の西側の地山の地盤が、深部までゆるんでおり、その原因に大きな破碎帯が貫いている事実が明らかになった。このままダムを造れば、大規模な地すべりの発生が予測されること、地盤の強化を行えば、莫大な経費がかかるため、中部地整の検証の「ダム案が最も安い」という結論は根底から覆るので、ダムは中止するべきだ。

第8回総会を開催します

と き：2014, 4月20日(日)

13:30~16:00

ところ：豊橋市民文化会館

(☎0532-61-5111)

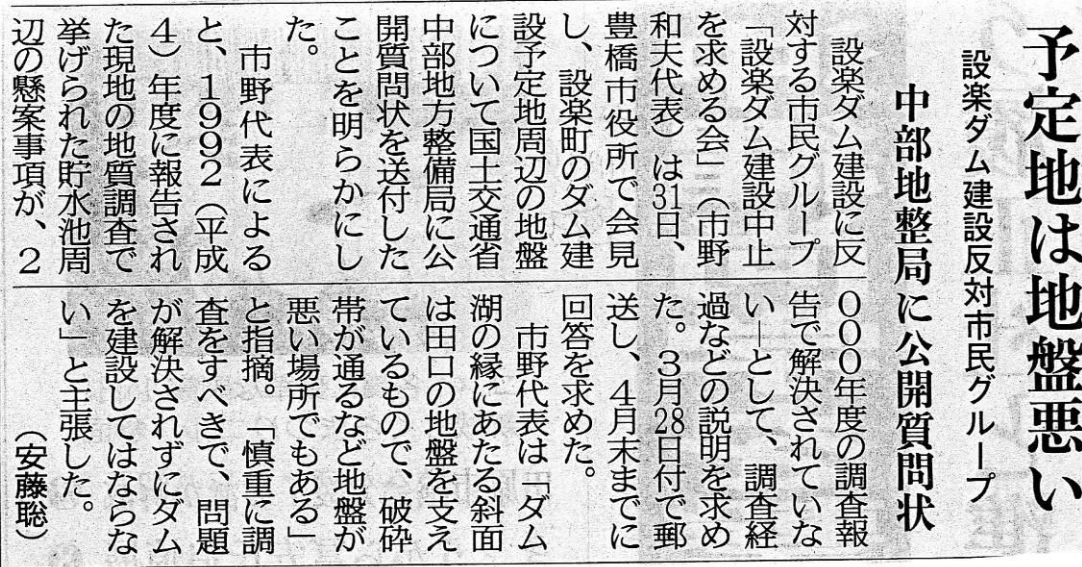
第4会議室

テーマ・2014年度運動方針など

・地質問題について説明の予定

- 国土交通大臣宛て要請書と、中部地整局長宛ての意見書並びに公開質問状（別紙）を3月28日付で送付しました。この件についても記者発表し中日、毎日新聞等各紙が記事に取り上げました。

東あいち新聞(2014,4月1日付)



- 3月19日には設楽町田口で記者会見を行いました。

この記者発表に至る経過について説明します。

市野 和夫

2月に田口で愛知県の設楽ダム公開講座が地質地盤・ダムサイトの安全性の問題をテーマに開かれました。その際に、講師の国土研の紺谷さんは、田口地区の地盤やダム湖の湛水の地下浸透問題について、心配されていて、講座の翌日、伊奈さんと現地をみて回られました。あいにくの積雪で十分な調査はできなかったのですが、田口高校から西の方角の地盤に問題があるという指摘はありました。

設 楽ダム予定地付近は、かつて地盤が二つに割れ、東側が陥没して海が進入し、堆積物が設楽層群という地層を形成し、設楽火山活動もあり、その後隆起して現在は陸地になっていますが、地形として「設楽盆地」が形成され、その盆地の西北端に当たります。

以上のような地史を踏まえると、直近に大きな断層があるはずだ、ということで、地形図から地形を読んで、現地を歩いてみて回り、断層・破碎帯の露頭や痕跡をたどって、つないでみると、古戦場の長篠城跡近くの中央構造線付近からまっすぐ北上して、ダムサイト直近を通る規模の大きい破碎帯を伴う線が見えてきました。

国 がこれまでやってきたボーリング調査の資料とのつき合わせも一部できてきましたので、ほぼ間違いはありません。もう少し慎重にという声もありましたが、「かわせみ」の来年度の計画を決めるタイムリミットが迫っているように思われましたし、県議会の開会中である方が、緊張感を与えるだろうし、何よりも、**国土交通省の本格建設への動き(※)**をけん制する必要がありましたので、あえてこのタイミングで行いました。当日は、記者に地質地盤問題を理解してもらうために、現地視察を合わせて行おうと会見場所を田口の特産物振興センターとしました。記者会見では、当会の見解を述べました。ついでに、さる2月に設楽で開かれた愛知県主催の公開講座で取り上げられた、地質地盤問題についても、触れました。

まだ、調査の進行中ですので、データをさらに充実させて、皆さまへの報告もいたしますので、よろしくお願いします。

2014, 3月21日

(※)3月11日に中部地整が監理委員会を開いて、現行のダム案がもつとも安価で、手続きに瑕疵がないという、御用機関としての結論を出しました。【朝日新聞 2014年3月12日付】

設楽ダム事業「妥当」

国交省の委員会

再検証し結論

愛知県設楽町に建設予定の設楽ダムについて、事業の必要性を再検証していた国土交通省中部地方整備局の事業評価監視委員会（委員長・林良嗣名古屋大学教授）は11日、名古屋市内で会合を開き、「事業継続は妥当」とする結論を出した。結果は国交省に報告され、国土交通相が事業再開の可否を最終判断する。設楽ダムは総貯水量9800万ト。1973年に計画が公表された。2009年2月に国、県、町で建設に合意。工事用道路建設が始まったが、10月に民主体制のダム事業見直しの対象となり事実上凍結。必要性が再検証されてきた。中部地整は昨年2月、洪

水調節、新規利水、流水の正常な機能の維持についてダムの建設が他の代替案よりも「最も有利」とする評価案を提示した。昨年12月、設楽町とダム下流域の5市は、早期建設を求める意見書を大村秀章知事に提出。今年1月、大村知事は評価案を容認した。この日の審議では、委員から社会情勢の変化への対応や環境への配慮などを求める意見が相次いだ。これまでの経緯を踏まえ、事業評価監視委として「事業継続が妥当」と結論づけた。ただ、社会、環境の変化に十分対応するため、事業採択後も「計画→実行→評価→改善」というPDCAサイクルに基づくダム事業による影響の軽減などを求める付帯事項を添え、国交省へ報告書案を提出することにした。

当会の3月19日の記者会見の内容を報じる記事

設楽ダム予定地「断層と破碎帯」建設中止を求める会

「設楽ダムの建設中止を求める会」（豊橋市）の市野和夫代表（元愛知大学教授）は十九日、設楽町内で記者会見し、国土交通省が計画する設楽ダム建設予定地で延長二十一キロの断層と破碎帯を確認したと発表した。専門家による詳細な地質調査を国交省に求める考え。市野代表は二、三月二現地調査した。水没予定地の設楽町川向地区から新城市長篠地区までの区間で、ダム湖の縁を通る形で南北に大きな断層が走り、断層に沿って幅五～十メートルの破碎帯があるという。市野代表は情報公開請求で国交省のボーリング調査報告書入手し、報告書には「岩盤に複雑な緩みが生じており、湛水時に岩盤傾斜が不安定化する可能性は否めない」と記されていた。「着工後、地盤の改良などにどれだけ費用がかかるかわからない。『ダム案が最も安価』とした国交省の検証結果は根拠から崩れる」と主張した。

【中日新聞 2014年3月20日（木）（愛知）県内版】

11番目の立木トラスト山に看板

を立てました。（右写真）

3月16日「第4回設楽を歩く」の終了後、参加者らとともに11番目となる立ち木トラスト山に看板を立てました。また、200人分のトラスト木札を付けました。

3月現在トラスト運動参加者は3,290人。
今年中に目標の5,000人を達成したい！



- 2014、3月21日に愛知大学記念会館で第10回連続公開講座が開催されました。この10回をもって愛知県が主催した設楽ダム連続公開講座（とよがわ流域県民セミナー）はひとまず終了しました。今後どうするのかは未定のようです。さて、設楽町田口の奥三河センターで開かれた第9

回の講座は、前日から降り積もった雪の中にも拘わらず、たくさんの傍聴者でした。前述しましたように講師の紺谷氏が指摘された岩盤地質の問題は、これからのダム建設に大きな影響を与えるでしょう。この第9回に参加された感想を伊奈副代表が次のように述べています。

とよがわ流域県民セミナー（第9回設楽ダム連続公開講座）に参加して

伊奈 紘

国

土交通省に地質のことが分かる人はいないらしい。

15日に愛知県主催の設楽ダム連続講座が田口で開かれた。今回のテーマは地質。

ダム推進派側からは設楽ダム事務所栗木副所長が講師として意見を述べた。反対派は国土研の紺谷博士。

あきれ返ったのは副所長が地質についてのド素人だったことだ。

（下・朝日新聞（2014、2月16日付）

第9回とよがわ流域県民セミナーの様子を報せる記事）

設楽ダムをめぐる、県主催の「とよがわ流域県民セミナー」が15日、地元設楽町で開かれた。地質をめぐる討論がメインだったが、昨年12月に大村秀章知事が事業受け入れを表明しており、質疑の冒頭、「今さら聞く意味はあるのか」という質問まで飛び出した。予定地周辺は急傾斜の山と盆地が続く複雑な地形。

設楽ダム周辺地質巡り議論 知事受け入れ後初県セミナー

地滑り跡もあり、地盤の強さや地下水への影響などがこの日の焦点だった。設楽ダム工事事務所の栗木信之副所長、立命館高校の紺谷吉弘非常勤講師が説明し、栗木氏が「地下水位は調査した」と言うと、紺谷氏は「どこで調べたかが問題だ」と切り返した。セミナーは2012年7月に始まり、9回目。県民

セミナーに先立ち、雪の設楽町で地盤の弱さについて説明する反対住民ら（右端）



の理解を深めるため」という目的だが、学者グループ

設

楽ダムの場合、ダムサイトの岩盤に固いAはない。

Bもほとんどない。脆弱なCのなかでも比較的Bに近いChを非常に硬い岩と思わせるため、あえてAを表から抜いてあったのだ。発表者の副所長がそのことを知らなかったらしい。地質を少しでも勉強していれば誰でも知っている初歩的な知識である岩級そのものを知らなかった証拠だ。

副所長は国交省の中部地整を代表して来ている。地質について誰よりも詳しいから選ばれて講師を務めたんだろう。その彼が地質のド素人。中部地整にはもともと地質がわかる職員が一人もいないことが露呈した。

専門官という役職があるが、これも名

が運営を任せられ、会場からの質問も受けるなど、従来の説明会とはひと味違う。この日も建設反対派の住民が直前に見学会を開いて危険性を訴え、推進する立場の元町役場職員（71）が「反対派が来るなら俺たちも来なくちゃ」と駆けつけた。参加者は約80人。当初の120人から減ったが、傍聴した豊川市の男性65は「知事がどう言おうと、川の近くに住んでいる自分たちにとって、どう治水効果があるのか、知りたい」と話した。（伊藤智章）

前だけ。以前彼らに「あんたらは地質について詳しいよね？」と聞いたことがある。「僕は別に専門的知識があるわけではない。専門の学校を出たわけでもない。専門官は役職名。課長と係長の間の役職にすぎない」との答えが帰って驚いたことがある。

地質調査はすべてコンサルに丸投げ。おそらく出てきた資料を正しく読み取れる国交省職員はいないものと思われる。彼らは決まって「ボーリングを何か所やったから大丈夫だ」と言う。そのボーリング結果を読み取れないのに……。私はその分析結果や対策法を聞いているのに……。

更に「ここが危ないでしょう」と言う。「今は設楽ダムは検証中なので、今後建設が正式に決まってから調査します」と逃げる。地質調査も不十分でどうして予算が立てられるのか？順序が逆である。これは他のダムの例では当初予算がどんどん膨らむ理由になっている。無責任ぶりにあきれ返った。

更に呆れたこと。それは今回初出場のコメンテーター。豊橋技術大学教授 河邑 眞氏。運営チームに地質の専門家がないので助太刀に来たというが、とんでもない食わせ物だった。根拠も示さず「ダムサイトの岩盤はダム建設に問題ない」と言いきってみたり、「岩級はAからEに分類される」と間違ったことを述べたり。極めつけは「かつて電源開発が同じ場所にダムを建設しようとして地質調査をした結果、諦めたのはなぜか？」という会場からの質問に、「電源開発はアーチ式ダムをつくる予定だった。アーチ式ダムはより頑健な岩盤が求められ、それには少し無理があったのだろう。今回は重力式ダムだから大丈夫だ」と述べたことだ。思わず「バカ」と叫びたかった。電源開発だってアーチ式ダムは無理だが重力式ならできると判断したなら計画を重力式ダムに切り替えたはずだ。同じ電源開発がつくった佐久間ダムは重力式ダムだ。どちらが安くできるかは私は知らないが、ダムの形式にこだわって建設を取りやめたとは思えない。

河邑眞氏がここまで極端に国交省の肩を持つ人とは、驚きだった。この御用学者を連れてきたのは誰だ？ 進行係だった原田委員も「私をサポートしてくれると思ったのに、びっくりした」と後で言っていた。土地水資源課の魂胆、悪くみが見え見えだった。

会員の方からのメッセージ



事務局に届く振込用紙や立ち木トラスト契約書には、事務的なことばかりではなく暖かなメッセージもいっしょに届きます。

大村知事が設楽ダム建設を容認した昨年(2017)の12月以降、特にメッセージが増えました。その一部をご紹介します。みなさま、ありがとうございました。

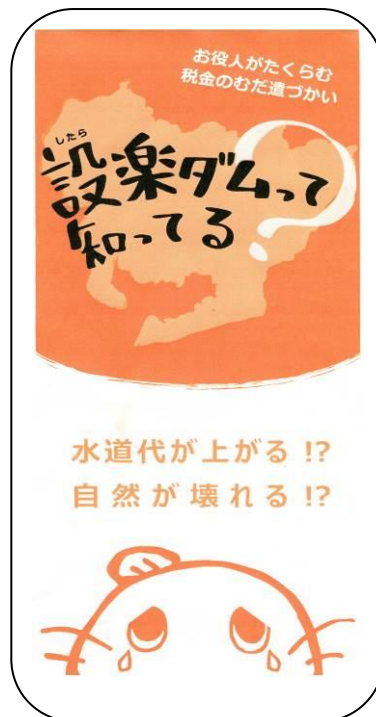
- ・ 先日「設楽を歩く会」に参加して、寒狭川の溪流沿いを歩いてきました。この自然を破壊してダムを作るなど断じて許せない、と思い、この会に賛同することとしました。(豊橋市 H.K)
- ・ 貴会を全面的に支持します。(豊田市 K.A)
- ・ 私も揖斐に暮らしており、徳山ダムは身近な出来事ととらえています。たいした力にはなれませんが、近しい人に読んでいただき、ささやかながら協力させていただきます。何かダム建設が議会を通過したらしきことを聞きましたが、何とか自然を守るためがんばってください。(揖斐 A.M)
- ・ 私もダム建設に反対です。(伊勢原市 H.Y)
- ・ 会費とささやかなカンパ併せて市野氏はじめ関係のみなさんのご活躍に心から敬意を表します。2月の会合には所要が合って出席できず残念です。(新城市 M)
- ・ 設楽ダムはいらない。やめてもらいたいです。(設楽町 K)
- ・ 何もできませんが影ながら応援しています。(東京 M.S)
- ・ 最後まであきらめず推移を見守りたいと思います。(尾張旭市 N.T)
- ・ 断固としてがんばりましょう。(桐生市 R.F)
- ・ 設楽ダム中止・東三河の自然の保護のために役立ててください。(豊川市 T.K)
- ・ 東海自然道には珍しい草花がたくさんあります。標本をいくつかもっていますのでお送りします。活用してください。(豊川市 K)
- ・ 知事の表明は残念ですが、今後も動きを注視していきたいと思います。(名古屋 N.M)

●前号（33号）でお知らせしました

「設楽ダムの早わかりパンフ」が完成しました（同封のもの）。

特に若い層に理解を広めるために、20代の2人に編集委員に加わっていただき完成に至りました。編集会議を5回開催しました。パタゴニア基金を利用して1万冊作りました。今後は集会や街頭で配布するなどして設楽ダム問題の理解者を増やすことに利用していきます。

みなさまのなかで、お知り合いやグループに配布していただけるようでしたらご要望部数を事務局（奥宮）までメール、電話またはFAXでご連絡ください。事務局よりお送りします。



当会が賛同団体になっている「秘密保護法の廃止を求める東三河の会」では毎月1回第2土曜日
14:00～15:00
豊橋駅前精文館前
で宣伝を行うことになりました。
ただし5月は3日（土）憲法集会日に
10:00～11:00に行います。

5月18日（日）はDVD「宮澤・レーンスパイ冤罪事件」上映を行います。
・午後1:30～4:00
・豊橋市職員会館 5階
・資料代 600円
主催：金子憲法講座
連絡先：垣内（0532・64・3363）

※「第5回設楽を歩く」の開催日と重なってしまいました…残念(>_<)。

「ムダにムダを重ねる導水路」裁判が3月20日結審、判決言い渡し日が決定しました。

●日時／場所 7/24(木曜日)

午前10時～ 1号大法廷

※9時30分～「事前集会」（裁判所玄関南）

- 報告集会「裁判」終了後、弁護士会館内会議室に於いて、
- ① 弁護団による判決文解説と声明文発表、
 - ② マスコミ関係者との質疑・意見交流 などを行います。

1ページにも書きましたが
当会では総会を開催します。
とき：4月20日（日）13:30～16:00
ところ：豊橋市民文化会館 第4会議室
☎ 0532-61-5111
まだまだやれることがある、と思います。皆様のお知恵をお借りしたい。
ぜひご出席ください。



設楽ダムの建設中止を求める会：<http://no-dam.net/>

代表 市野和夫 ichinok7@mx3.tees.ne.jp

郵便振替の口座番号:00870-1-134146 加入者名:設楽ダムの建設中止を求める会
他銀行からの振込みは、ゆうちょ銀行【店番 089(ゼロハチキュウ店) 当座 0134146】
設楽ダムの中止を求める会の年会費は2000円です。

事務局 奥宮芳子 〒440-0069 豊橋市御園町1-3 0532-54-7305 okumiya@xj.commufa.jp